



学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育推進室

平成 26 年 2 月 4 日

〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268

○ 東大阪市学校教育基本目標

すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を

○ 東大阪市学校教育重点目標

学校園の活性化と確かな学力の育成

総合的視点に立つ教育の推進、人間尊重に徹した人権教育の実践、

子どもが自ら学ぶための『環境』『習慣』『授業』づくり ～東大阪市教育フォーラムより～

平成 26 年 1 月 25 日（土）東大阪市立市民会館にて、東大阪市教育フォーラムを開催しました。市民会館に会場を移して 5 年目となった今回も、約 1000 人の教職員・保護者・市民の参加がありました。

今年度のオープニングテーマは、「言語活動」・「理数教育」・「伝統や文化に関する教育」で、小阪幼稚園園児によるわらべ歌メドレーから始まりました。『はないちもんめ』や『かごめかごめ』など昔から伝わる遊び歌、『げんこつやま』の曲を使っての手遊びなどを披露し、会場からたくさんの拍手がわき上がりました。続いて、枚岡東小学校児童による合奏『SING☆SING☆SING』では、約 20 種類の楽器による幾重にも重なり合う音と軽快なメロディーで、会場全体が楽しい雰囲気になりました。盾津東中学校（科学部）生徒による科学実験ショーでは、「ドライアイス色変わり実験」や「大中小さまざまな空気砲のリズム打ち」など、科学の魅力たっぷりのショーに、客席から大歓声が起こっていました。そして、日新高等学校生徒によるプレゼンテーションでは、『高校生活で学んだこと』と題して、自分自身の経験を基に日新での有意義な高校生活について紹介してくれました。



第一部では、市教委より保護者・市民に向けて、「平成 25 年度 全国学力・学習状況調査」の結果を基にした、東大阪市の学力向上の成果と課題についての報告があり、続いて幼・小・中学校それぞれから、本市の学力向上テーマ「子どもが自ら学ぶための『環境』『習慣』『授業』づくり」に沿った報告がありました。まず岩田幼稚園から、協同する遊びの中で広がり深まっていく“小学校以降の教育の土台につながる”学びを意識した取組みの報告がありました。次に大蓮小学校と小阪小学校からは、学校総体としての“授業スタンダード”づくりの実践報告がありました。最後に若江中学校から、“学校力向上”に向けた

“組織づくり・授業づくり・学習規律・自学自習力・保護者地域等との連携”等、PDCA サイクルによる具体的な取組みの報告がありました。どの学校園も、子どもの実態・課題を踏まえた取組みで成果をあげており、他の学校園にとって参考となるものでした。

第二部では、早稲田大学教職大学院より、田中博之教授の「家庭と学校が連携した総合学力の向上」と題した講演が行われました。「これから育てるべき総合学力として、教科の学力（知識・理解の基礎基本と思考力・判断力・表現力）と関係のある、社会的実践力（社会をよくする実践力）や学びの基礎力（学校と家庭が連携して育てる学習習慣・生活習慣・規律）が重要である。」との提言があり、総合的な学習の時間や家庭学習の取組みが学力向上と深い結び付きのあることを再認識する場となりました。

本フォーラムを通して、学校・家庭・地域がそれぞれの立場で考えを深め、連携を強めるための有意義な時間となりました。



平成 25 年度ケアアシスタント研修

本市では、医療的ケアの必要な子どもが在籍する学校園へのケアアシスタント配置を進めておりますが、昨年 12 月 25 日、東大阪市総合病院看護局教育委員会の全面的なご協力のもと、ケアアシスタント対象に、以下の 2 点をポイントに研修を実施しました。



- ① ケアアシスタントが看護技術を復習することで実践業務に対する不安の軽減につながる。
- ② ケアアシスタントが最新の知識を得た上で、実践技術の再確認をすることができる。

当日、ケアアシスタントの方たちは病院が用意してくださった白衣に着替え、ナーシングスキルを視聴し、最新の看護技術とエビデンス(科学的根拠)の再確認をしました。その後、技術(導尿・経管栄養・吸引)のデモンストレーションを行い、日ごろ学校園で実施している業務に真剣に取り組みました。

昼食時には、活発な意見交流を行い、午後からは、病棟見学や小児科病棟看護師長さんとの話し合い、看護局教育委員会の方たちとディスカッションを行いました。感想からは、看護師としての責任感が強く感じられました。

【参加者の感想】

- ・具体的な指導は役に立つ。学校の先生方にもわかりやすい説明ができるようがんばりたい。
- ・医療現場を離れていると忘れていたことがあり、基本にもどることの大切さを再認識した。
- ・今までの経験が通用しない現在の現場で、とてもつらく不安も大きかったが、ナースとしてのプライドをもち、児童の学校生活を守るために今後も頑張り、チャレンジしたい。



吸引



導尿



経管栄養

*現在ケアアシスタント登録者の募集をしています。詳細は学校教育推進室までお問い合わせください。

ネットトラブルが多発しています！

ネットトラブルを防ぐためにー

ネットトラブルはスマートフォンなどの携帯電話だけでなく、携帯型ゲーム機や音楽プレーヤーなど様々な「携帯情報端末」において生起しています。社会的に大きな問題となっている「ネットいじめ」「ケータイ依存」など様々なトラブルを防ぐためには、子どもにマナーや情報モラルを教えることや、家庭でも子どもの携帯電話等の利用の実態を把握し、使用のルールづくりを行うことが大切です。

トラブルが発生してからルールをつくるのではなく、「はじめにしっかりルールを決める」「ルール違反があれば使用を停止する」

「子どもの発達にあわせてルールを変更する」という家庭での適切な管理が、ネットトラブル防止の「鍵」となります。



(家庭でのルール例)

- ・食事中や家族が一緒にいるときは使わない
- ・自宅内では居間で使う
- ・学校への持込みについては学校のルールに従う
- ・他人を傷つけるような使い方をしない
- ・知らないところからきたメールには絶対に返信しない
- ・知らない人に自分や友だちの個人情報(名前、住所、電話番号、メールアドレスなどの)は教えない
- ・ルール違反や携帯電話の使用によって生活に支障が生じている場合には携帯電話の利用を停止する